

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	34-8
PDCA	主要事業名	図書館、博物館施設等改修事業	部課名	教育部博物館	担当	稲葉	
					内線	23-7173	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 3 年度 全体事業費等： 15,964 千円 会計 一般会計 歳出科目 09.05.03.20.52 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 16,000 千円						
	事業概要等	事業概要： 地域文化の振興や市民の学習活動支援にとって重要な社会教育施設である図書館及び博物館の施設管理運営を行うものです。					
		事業目的： 図書館、博物館が適切に運営できるよう、必要な管理運営を行い、利用者の安全・安心を確保するとともに、施設の維持を図ります。					
		事業内容： 自動火災報知設備（防災監視盤）・非常放送設備の更新を行います。					
		問題点・課題等： 現施設は昭和59年に開館しており、建物および設備の老朽化が進行しています。計画的な修繕を行うものの、予測不可の故障等が頻繁に発生する状況です。					
	予算額	主要事業とする理由					
	15,964 千円	図書館、博物館の適切な改修は、施設を市民が安全・安心に利用でき、かつ、貴重な資料を保存していくための必要不可欠な要件であるためです。					
	財源内訳						
	市費	得られる成果					
	15,964 千円	図書館、博物館を適切に改修し、市民が安全・安心に利用できる施設として運営することで、市民の文化的教養を高めるとともに、貴重な資料を後世へ残すことができます。					
	国費						
	0 千円	目標値や目指すべき状態					
	県費			令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
		0 千円	改修等が予定どおり実施され安全・安心な施設である	実績値	—	—	—
	その他			目標値	—	—	—
0 千円				実績値			
				目標値			
				実績値			
				目標値			
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	15,290 千円	老朽化が進行し、更新時期をむかえた設備を計画的に整備することで、故障等の発生が抑制でき、市民が安全・安心に利用できる施設となりました。					
		成果指標				令和3年度	単位
		感知器の交換	実績値	1.0	式		
			目標値	1.0	式		
		防災監視盤の交換	実績値	1.0	式		
			目標値	1.0	式		
		非常放送設備の交換	実績値	1.0	式		
			目標値	1.0	式		
	C 課題の整理	事業の評価・課題	B				
機器の更新により、新型コロナウイルスの注意喚起や、閉館前の事前アナウンス等を自動で実施できるようになり、正確な時刻での案内、聞き取りやすいアナウンスなど市民の利便性の向上が図られただけでなく、設備の修理や動作等を行っていた職員の負担を軽減することもできました。しかしながら、依然として多くの設備の更新が必要な状況となっています。							
A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	改善推進					
		整備した機器等が長期にわたり正常な状態を維持できるよう点検を実施するとともに、従事する職員が、平時、有事を問わず適切に使用できるよう、教育、訓練を定期的に行います。また、負担軽減を図ることができた職員の労力を活用し、施設の更なる改善やサービス向上に取り組めます。					
	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト 削減余地	ない		
②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない					

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用